

56

Jan.2019



② 年頭所感 2019 年年頭ごあいさつ

③ 特別寄稿 株式会社日本設計
執行役員 技術管理部長 興 尉 氏
「更なる安全性を求めて」

④ トピックス ZEH および次世代建材の普及に向けて②

⑦ 新会員企業紹介コーナー

⑧ 第 6 回 会員企業紹介コーナー

JSDA

一般社団法人 日本シャッター・ドア協会

2019年 年頭ごあいさつ

一般社団法人 日本シャッター・ドア協会
会長 長野 敏文



新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

旧年中は協会の運営にご理解・ご協力を頂戴し、厚く御礼申し上げます。本年も一層のご支援を賜りますよう、なにとぞお願い申し上げます。

さて、昨年は記録的な集中豪雨や強い勢力を伴う台風・地震など、多くの自然災害に見舞われた一年でした。被害に遭われた方々の一日も早い復興支援となるよう、当協会の会員各社においても鋭意努力をしております。一方、建設市場の動向としては2020年以降の需要の落ち込みが気になるところでしたが、2025年に大阪で2度目の万国博覧会が開催されることが決定し、少なくともマインドは好転したと感じております。企業の設備投資も順調に回復しており、2019年においても穏やかな回復基調が続くものと考えております。

こうした中で防火設備検査報告制度は、2016年6月に施行後、当面3年の間で1回の報告を求められた猶予期間が終了し、今後は毎年の報告が義務付けられるようになります。本制度は国家資格として専門的な知識と技術を有する防火設備検査員によって行われるものであり、現在では13,600名の方が資格者となっています。そのような中、一部会員企業において防火シャッター・ドア保守点検専門技術者資格の受講資格に必要な実務経験年数を不正に申告して受講し、結果として国家資格である防火設備検査員資格を取得していた事案が報告されました。誠に遺憾です。協会として再発防止策を早急に取りまとめ、会員各社が徹底することで、法改正の主旨に沿った対応が確実に実行出来るよう万全の体制で臨み、信頼回復に努めて参ります。次に、シャッター・ドアなどの施工者を対象とした技能検定制度の導入を目指して、準備を進めております。防火設備の検査報告制度には検査員資格が制定されたにもかかわらず、シャッター・ドアの施工を行うための国家資格はまだありません。技能検

定とは働くうえで必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度で、合格すれば合格証書が交付され、「技能士」と名乗ることが出来ます。

このことが、施工品質の向上はもとより、施工者の地位向上、ひいては人手不足の解消にもつながる事となりますので、当協会としては、是非とも指定試験機関とされるよう取り組んでまいります。皆様におかれましても、是非この主旨をご理解いただき、ご協力の程お願い致します。

又、新たな課題として、重量シャッター・軽量シャッターのJIS改正に取り組んでまいります。昨年、消費者安全調査委員会から「事故等原因調査報告書—電動シャッター動作時の事故—」が公表されるとともに、消費者庁から「電動シャッター動作時の事故に注意!」というニュースリリースが、又、経済産業省からは当協会宛てに「電動シャッター動作時の事故防止の取組等について」という要請書が発信されました。

これらを受け当協会では、重量シャッター・軽量シャッターのJIS改正に取り組んでいくと共に、協会として安全装置の装備、点検の推進などの安全認知活動を行い、安全、安心な社会に向けて貢献してまいります。

尚、近年の気候変動によるゲリラ豪雨等の増加に鑑み、新たな事業として浸水防止用設備のJIS化を進めておりましたが、おかげさまで昨年末にJIS原案が完成し、日本規格協会への提出を完了しております。順調に進めば本年中頃にはJISが制定されるものと見込まれます。

2019年は、東京オリンピック・パラリンピック関連物件の進捗、消費税増税の影響等、さまざまな環境変化が予想されますが、当協会も決意を新たにして3大事業に取り組んでまいりたいと存じます。本年も皆様からの変わらぬご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

定例理事会が開催されました

1月15日(火) 16時30分よりホテル グランドアーク半蔵門 5階「シンフォニー」にて第21回定例理事会が開催されました。議題として、第1議案「重量シャッター技術標準改定について」、第2議案

「会員の入会について」が諮られ、原案通り承認された。また、報告事項として「防火シャッター・ドア保守点検専門技術者講習会受講資格取得に関する不正事案等について」「防火設備の検査報告制度について」「技能検定制度について」の3点について説明が行われました。

更なる安全性を求めて

株式会社日本設計
執行役員 技術管理部長
興 尉氏



近年の建築物の超高層化、大規模化、複合化に伴い、火災に対する安全性の確保は、建築を設計するものにとって最も重要な命題の一つである。建物の総合的な安全性を確保するには、建築基準法令・消防法令等の各種法令に基づくものでなくてはならない。しかし、それらの法令は、国民の生命、財産の保護を図ることを目的としているが、あくまで最低限の基準であり、法令を満足しさえすれば合理的・総合的に安全な計画となるとは限らない。

火災への対応として、出火防止、発見・感知、初期消火、拡大防止、避難、本格消火といった項目について多角的な検討が必要である。防火戸、シャッター等の建具は防災上、「火災の拡大防止」及び「避難経路の確保」という非常に重要な役目を担っている。そうした中で、火災の拡大防止のため、空間を閉鎖することが避難の妨げになる可能性もある。居室の避難の用に供する扉数が少なく、かつ扉幅員の合計が狭い場合、また、避難動線上にある防火戸にくぐり戸のある場合などがこれに相当する。収容人員が多い居室を有する建築計画においては、より十分な検討が必要なのは言うまでもない。

平成13年ごろまでは、高層ビル、大型商業施設、興行場・ホールなどの大規模な計画には、防災計画書を作成し、評価を受けることが指導されていたが、現在は一部の自治体で作成が指導されている状況である。なお、指針に基づく居室避難計算では以下のように規定されている。

$$\begin{aligned} \text{居室避難時間 } T_1 &= \max(\text{扉通過時間} = \\ &\quad \text{避難人口} / \text{扉幅合計} \times 1.5, \text{室内歩行時間}) \\ \text{居室許容避難時間 } rT_1 &= 2\sqrt{\text{居室面積}} \\ \text{居室避難時間 } T_1 &< \text{居室許容避難時間 } rT_1 \end{aligned}$$

避難人員の多い居室では扉通過時間が支配的になるが、例えば300㎡の会議室に180人が在室したとすると、上記を満たすためには約3.5mの扉幅が必要となる。

また、近年は大規模な吹抜け空間に対し大型シャッターが使用される例が多いが、煙の感知を早期にかつ確実にを行うような建築的配慮も重要である。

このようなことは法令が要求しているものではないが、設計者における安全に対する指針として、計画の特徴を把握した上で反映すべきと考える。

NEWS

重量シャッター・軽量シャッター JIS改正 検討開始

2019年1月23日、千代田区和泉橋区民会館に於いて、JIS原案作成委員会が開催されました。

当協会では、[JISA4704 軽量シャッター構成部材]・[JISA4705 重量シャッター構成部材]の改正に取り組んでいますが、本委員会に先立ち、昨年12月4日には分科会が開催され、メンバーより闊達な意見が出されました。本委員会は、東京大学大学院 清家剛 准教授を委員長として、分科会からの意見を取り纏め、今秋頃のJIS改正（原案提出）を目指します。

昨年、消費者庁・経済産業省等から電動シャッターの事故防止に関する報告書、意見書等が公開され、安全装置の装備等を盛り込んだJISの検討を要請されて

います。

電動シャッターの安全性向上により、安全・安心な社会へ貢献していきます。



ZEHおよび ② 次世代建材の 普及に向けて

ZEH および次世代建材の普及に向けて3回にわたり解説します。

第2回は、前回に引き続き「ZEHの普及に向けた政策の動向」についてです。

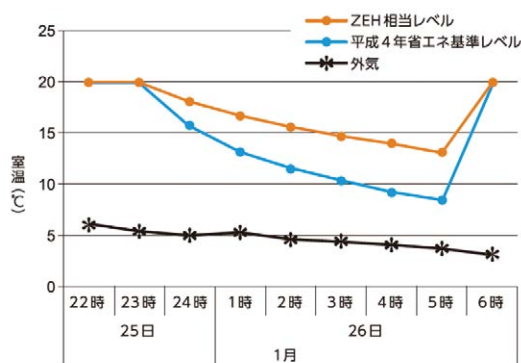
※経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー課資料から引用

2.ZEHの普及に向けた政策の動向②

ZEHの住み心地（快適性・健康）

快適性 例：起床時の室温

- 冬季、一般的な住宅*では、夜間に室温が10度以上低下
- ZEH相当レベルの部屋では温度低下が半分程度
- ※ 平成4年省エネ基準レベル

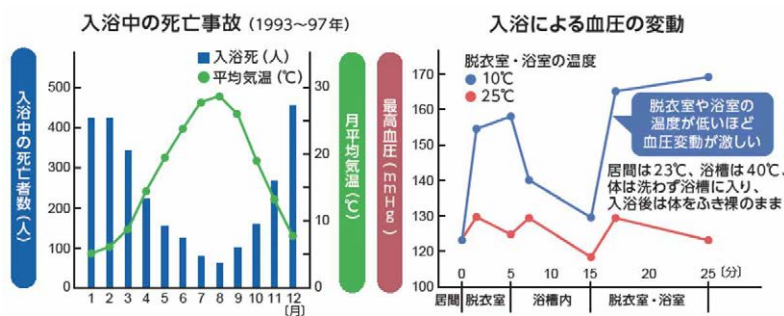


断熱水準と夜間暖房停止後の室温変化 (東京)

(出典：HEAT20 設計ガイドブック)

健康 例：ヒートショックのリスク低減

- 家庭内の死亡事故の多くが寒い時期の入浴中に発生
- その多くがヒートショックに起因する、心筋梗塞や脳出血、脳梗塞が原因と想定
- 断熱性の高い住宅では、脱衣室や浴室と居間の温度差が小さくなり、ヒートショックのリスクが低減する可能性が指摘されている。



入浴中の死亡事故 (1993~97年)
出所：国民生活センター
「くらしの危険No.224 浴室内の死亡事故」

入浴による血圧の変動
出所：板原裕 九州芸術工科大学 (現：九州大学芸術工学研究院)

ZEHの認知度向上に向けた取り組み

国によるZEHの広報/ブランド化

- 政府インターネットテレビにおいて、「快適な省エネ」として、実際のZEH居住者の声を紹介
- YouTubeのバンパー広告等を活用し、「ZEH」という単語の認知度向上
- エネマネハウス (2014, 2015, 2017)
- BELSとの連動
- 環境省 COOL CHOICE × ZEH

民間事業者によるZEHの広報/ブランド化

- 住宅供給事業者各社による一般消費者向けのZEHセミナー・展示会の開催
- 不動産情報ポータルサイト (SUUMO等) におけるZEH特集
- 分譲住宅 (集合・建売戸建) のZEH支援事業において、ZEHマークやBELS等を活用した広報 (案内チラシや広告等) を実施する要件を設定



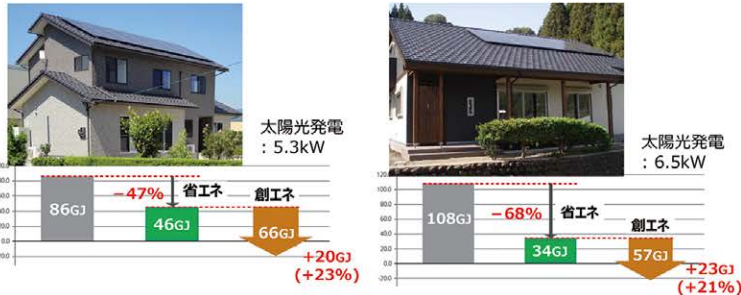
第3回エネマネハウス (平成29年12月2日~17日 大阪にて開催)



平成30年2月2日 (金) 読売新聞7面掲載 (エネマネハウス採録記事下)

地域の工務店や設備・建材メーカー等における ZEH に係る取組み (例)

工務店によるZEHの例



業界における取組の例



ZEH の更なる普及に向けた課題

■ 多様な ZEH の実現

- ✓ 施主の要望を踏まえた多様な建築プランでの ZEH の実現
- ✓ 狭小地、寒冷地・多雪地域等に対応した ZEH 事例の普及
- ✓ 再生可能エネルギー政策と整合した ZEH について、あるべき姿を定義 等
 - ① 更なる省エネ
 - ② 更なる高断熱 (例：現行加点基準 UA 値 1・2 地域：0.30 以下、3～5 地域：0.40 以下、6・7 地域：0.50 以下)、高度エネルギーマネジメント、電気自動車との連携 等

■ エネルギーベネフィットの効果的な訴求

- ✓ 太陽光発電事業者と住宅供給者、設備・建材メーカーの連携・ファイナンススキーム (ライフサイクルコストの視点)
- ✓ 運用時の省エネの効果的な推進 等

■ ノン・エネルギー・ベネフィットの効果的な訴求

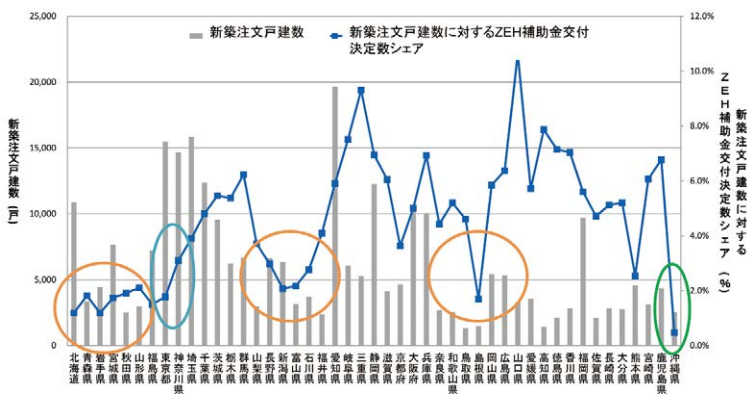
- ✓ 補助事業から得られたデータの一層の活用
- ✓ 高断熱の効果の一層の普及啓発 等



ZEH ロードマップフォローアップ委員会を 2017 年 7 月に設置。

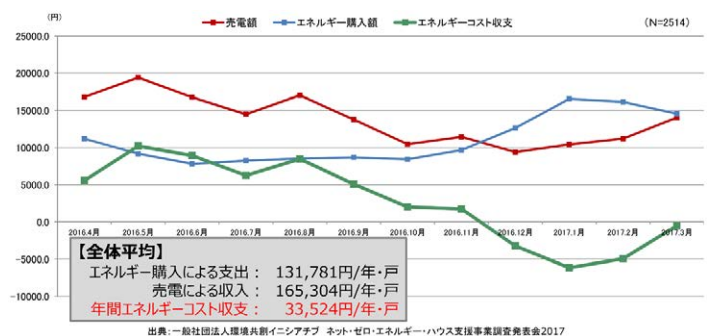
※集合住宅に関しても別途検討会を設置し、集合住宅における ZEH の定義のあり方、その普及に向けたロードマップ等を検討。

ZEH の普及状況と課題 交付決定数の地域別シェア



注1：*地域(北海道)における寒冷地特別強化外皮仕様の場合に限り、Nearly ZEHも補助対象
出所)新築注文戸建数:2016年度 住宅着工統計(国土交通省)、ZEH補助金交付決定数:ネット・ゼロエネルギーハウス支援事業調査発表会2016資料

2013～2015 年度に供給された ZEH の経済メリットと今後の課題



⇒売電単価下落に伴い、今後は自家消費率を高めなければ、消費者メリットが出なくなる可能性が指摘されていた。

ZEHの普及状況と課題 ZEHビルダー普及目標達成・未達成に係る理由の分析

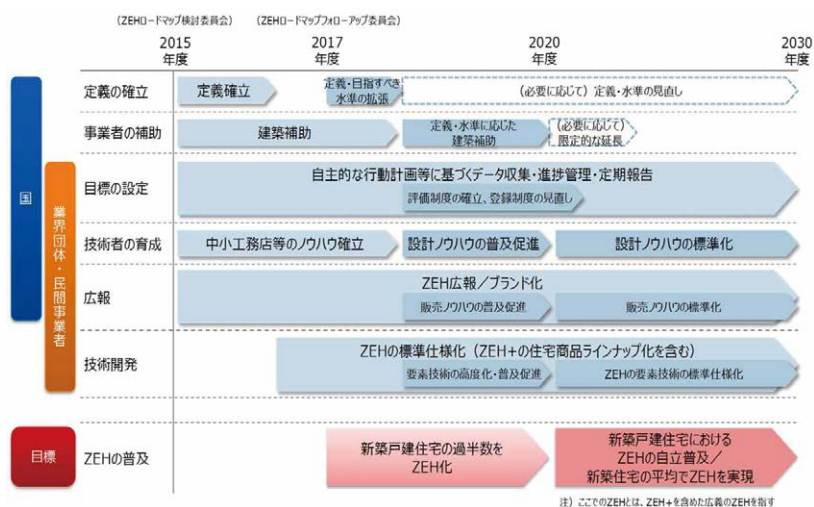
- 自主目標未達成の理由においては、顧客対策よりも社内体制に依る割合が高い
- 目標達成の要因としては、商品ラインナップへの採用が多く、HP/チラシ等による周知も効果的

未達成の理由	ビルダー数(社)			
	実績 0%	実績 10%未満	実績 10%以上	総計
1 体制不備	1,558	210	144	1,912
2 顧客の予算	801	91	83	975
3 顧客の理解を引き出すことができなかった	670	78	52	800
4 PV容量が足りなかった	100	22	37	159
5 工期の問題	53	16	9	78
6 補助金がもらえなかった	41	15	8	64
7 省エネ(20%削減)ができなかった	23	9	9	41
8 ZEHの定義を誤解していた	19	4	7	30
9 その他	104	8	18	130
総計	3,369	453	367	4,189

達成の要因	ビルダー数(社)	
	社内体制	顧客対策
1 ZEH仕様の商品(仕様)の設定	189	
2 社内研修/勉強会等社員のスキルアップ	87	
3 ZEH関連資料の整備	25	
4 HP/チラシ等による周知	259	
5 ZEHメソッドの訴求	232	
6 完成見学会やモデルハウスによる体験	217	
7 補助金の活用	90	
8 ZEHへの関心・知識を持つ顧客の増加	86	
9 セミナー・勉強会の開催	74	
10 BELSの活用	14	
11 ZEHに住んでいる方の感想を取聞	7	
12 その他	50	
総計	1,330	

ZEHロードマップの見直し

- ZEHロードマップフォローアップ委員会を2017年7月に設置。
ZEHの更なる普及拡大に向けた対策を検討し、ZEHロードマップのフォローアップを実施。
(委員会のとりまとめは、2018年5月16日に公開。)
- 2020年目標の具体化及び実現に向けた取り組み状況のフォローアップ、追加的な対策の検討
- 2030年目標の実現に向けた課題と対策を検討



ZEHに係る施策の進捗状況について

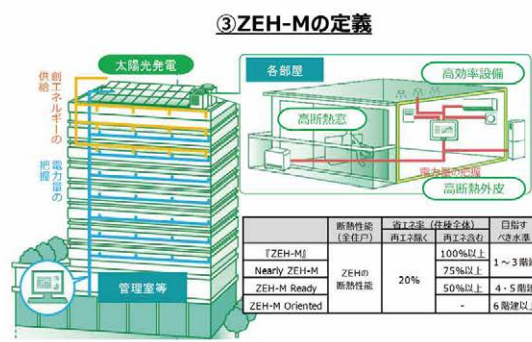
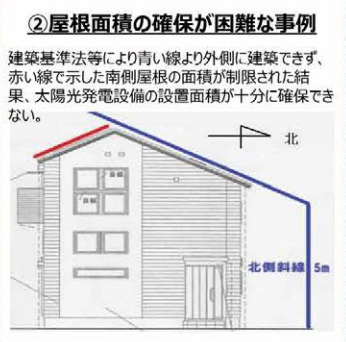
- ✓ 2020年までに新築注文戸建住宅の過半数をZEHにするとの目標に対し、2017年度の実績は約4.2万戸(約22.9%)。2016年度比で約8千戸増。
- ✓ ZEHの更なる普及(2030年までに、建売戸建住宅や集合住宅も含む新築住宅の平均でZEHの実現を目指す)に向けて戸建住宅のZEH化を強化するとともに、集合住宅のZEHを新たに定義する等の必要な支援策を措置。

【戸建住宅のZEH化を強化】

- ・ 太陽光発電の自家消費率を引き上げ、FITからの自立を目指す「ZEH+」を定義。
- ・ 都市部等、太陽光発電設備を屋根に設置することが難しい地域で目指すべき水準として、ZEHの断熱性能と省エネ基準比20%削減の達成を求める「ZEH Oriented」を定義。
- ・ 建売住宅に対しても支援策を措置。

【集合住宅のZEH】

- ・ 建物の階数に応じて目指すべき水準を設定した「ZEH-M」を定義。



新会員企業紹介コーナー

株式会社サンロック

所在地：広島県福山市新市町大字下安井 539 番地 1

事業内容：シャッター取付・修理・保守・点検、防火設備の定期検査、消防設備工事・建築物・土木工事・電気工事・しゅんせつ工事・建具工事等の設計、施工、請負



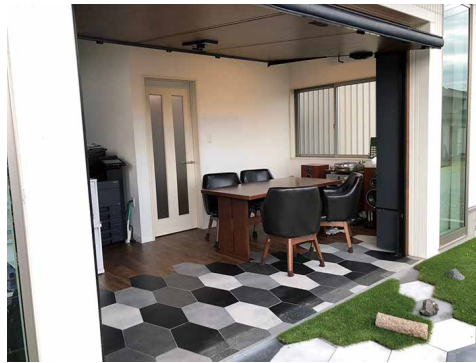
代表取締役社長
小林 優氏

● 当社の強み

防火設備報告義務化に伴って、業務を拡大。各行政に対応し、点検サービスの体制を整えるとともに、全国でも珍しい一般向けシャッターの展示オフィスを設置しております。壁の一面には、木製ガレージドアを設置しており、西日本で唯一オープンテラスシャッターを施工、販売をしております。

● JSDA に期待すること

防火設備点検完了後に、防火シャッター・防火ドアの認定者のみが取り扱える保証付き点検シールを貼りたいので、協会より発行していただき、防火設備点検の認知度を上げていきたい。



日本エフ・アール・ピー株式会社

所在地：福井県福井市江上町 50-19

事業内容：FRP（ガラス繊維強化プラスチック）を使用する構造物の設計・製造・施工
（営業品目：FRP 防水扉「寝ずの番・止水名人」、FRP グレーチング、FRP 引抜材、FRP 覆蓋、FRP 水門他）



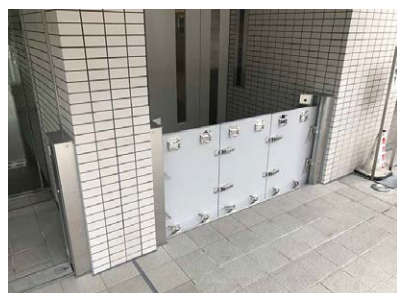
代表取締役社長
海道 直人氏

● 当社の強み

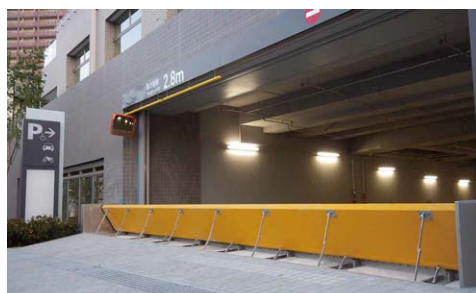
軽量かつ高強度の FRP 製品に特化し、お客様の要望に応じた製品の設計・製作・設置まで一貫した対応が可能です。特に FRP 構造物（FRP 防水扉、FRP 水門、FRP 橋梁）は厳しい環境下での効果が発揮できます。また FRP 防水扉「寝ずの番」は水の浮力で自動的に作動するため、災害時の停電や漏電等に影響されません。

● JSDA に期待すること

近年多発する台風や局地的な集中豪雨による被害が大きな社会問題になる中、止水製品の重要性和必要性が益々高まっています。今後、防水扉分野での事業展開におきまして、技術はもとより品質向上や安全対策などいろいろと学ばせて頂きたいと思っております。



▲防水扉 止水名人



▲防水扉 寝ずの番



▲熊本工場

第6回 会員企業紹介コーナー

BX 紅雲株式会社

所在地：愛知県犬山市下舞台 37-2

事業内容：ステンレス製サッシ等金属製品の製造

● 当社の強み

文化シャッターグループである当社は、ステンレス建具専門メーカーとして、長年お世話になっております。機械加工といわば職人的な組立作業により、さまざまなご要望にお応えして建物エントランス周りの印象作りのお手伝いをいたします。また、防火設備のラインアップも取り揃え、建物の安全性にも貢献いたしております。

● JSDA に期待すること

業界には共通する課題が数多くあると思われれます。お互いが課題のクリアに切磋琢磨するための助けになる情報提供を期待します。

● 地元のオススメスポット

名古屋メシの代表格でもある“ひつまぶし”。弊社工場近くにある「大安」さんも人気店のひとつです。弊社にお越しいただいたお客様からは工場よりもこちらの印象が残る!? とのコメントもいただくお店です（笑）。



代表取締役
大屋 厚郎氏



▲本社外観



▲「大安」のひつまぶし



▲製品写真 1



▲製品写真 2



▲製品写真 3

ワールド工業株式会社

所在地：埼玉県さいたま市北区吉野町 2 丁目 270 番地 4 号

事業内容：高速シートシャッター、電動間仕切りシートの製造・販売・施行・メンテナンス。

各種固定金具の製造・販売。その他金属加工製品の製造・販売。

● 当社の強み

特大サイズまで対応可能なオリジナル高速シャッターで製造・販売・施行・メンテナンスまで自社で対応し、お客様から確固たる信頼を得ています。海外展開ではタイの現地法人により製造・販売・施行・メンテナンスを東南アジア諸国に展開しています。金属加工の技術と電気回路の制御技術により多様な製品を展開していきます。

● JSDA に期待すること

業界の現状、今後の動向、課題等についての情報提供と会員同士の交流の場の提供を期待します。

● 地元のオススメスポット

大宮市場は、食品だけでなく、調理器具や器など、バリエーション豊かな品ぞろえで、毎週土曜には一般客にも開放されています。また、市場内の食材を使った美味しいデカ盛りグルメが食べられる飲食店があります。



代表取締役社長
野積 晟氏



▲製品写真 1



▲製品写真 2



▲本社外観

ニッポンを冠して、未来へ。

日本製鉄へ

日本発祥の製鉄会社として、
未来に向かい世界で成長を続けるために。
新日鉄住金は2019年4月、
日本製鉄 (NIPPON STEEL) に
社名変更いたします。

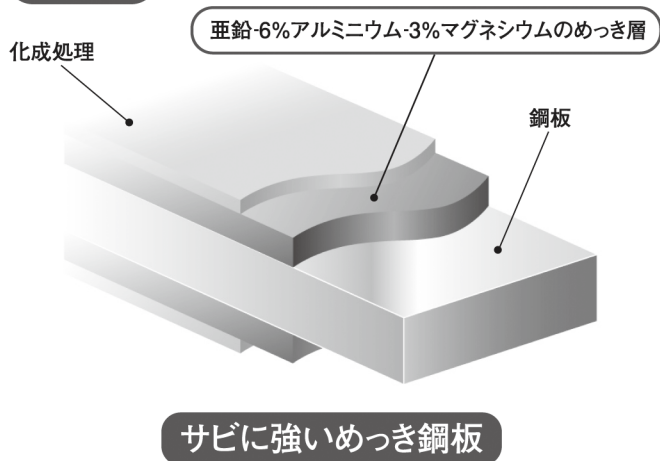
 新日鉄住金

世界の鉄へ しんにってつすみきん

高耐食溶融めっき鋼板

ZAM[®]とは
亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウムの
めっき層を持つ新しい溶融めっき鋼板です。

製品構成

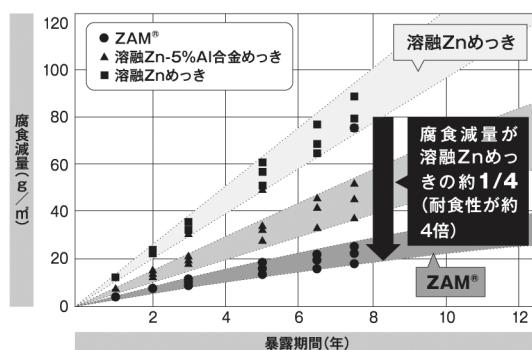


※「ZAM」は、日新製鋼株式会社の登録商標です。
「ZAM」は、日新製鋼株式会社が開発した溶融亜鉛Zn-アルミニウムAl-マグネシウムMg合金めっき鋼板の商品名です。

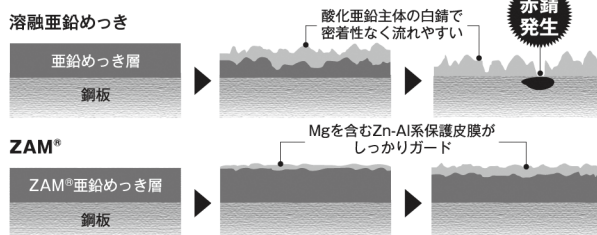
 新日鉄住金グループ

優れた耐食性

■屋外暴露試験(一般環境)



■平坦部の耐食メカニズム



日新製鋼株式会社

●本社 〒100-8366 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル TEL. 03-3216-5166
●大阪支社 ●名古屋支社 ●中四国支社 ●北海道支店 ●東北支店 ●新潟支店 ●北陸支店 ●四国支店 ●九州支店

謹賀新年

2019

謹賀新年

大鳥機工株式会社

代表取締役社長 藤原 憲 治

〒689-1121
鳥取県鳥取市南栄町 19 番地
TEL 0857-53-4611 FAX 0857-53-3515
<http://www.ohori-kiko.co.jp>

謹賀新年

オプテックス株式会社

代表取締役社長 上 村 透

〒520-0101
滋賀県大津市雄琴 5-8-12
TEL 077-579-8700 FAX 077-579-7030
<http://www.optex.co.jp>

謹賀新年

株式会社キンマツ

代表取締役社長 増 井 茂 夫

〒536-0001
大阪府大阪市城東区古市 3 丁目 6 番 13 号
TEL 06-6939-1541 FAX 06-6939-1372
<http://www.kinmatu.co.jp/>

謹賀新年

株式会社シブタニ

代表取締役社長 石 橋 芳 男

〒542-0082
大阪府大阪市中央区島之内 2-13-7
TEL 06-6211-7335 FAX 06-6211-7340
<http://www.shibutani.co.jp>

謹賀新年

昭和建産株式会社

代表取締役 竹 山 敏 彦

〒370-0603
群馬県邑楽郡邑楽町中野 1453 番地
TEL 0276-88-2121 FAX 0276-88-7054
<http://www.s-kensan.co.jp>

謹賀新年

株式会社スガモトテント

代表取締役社長 菅 本 清 二

〒922-0241
石川県加賀市加茂町 307 番地
TEL 0761-76-0006 FAX 0761-76-4006
<https://www.sugamototent.com/>

謹賀新年

杉山製機株式会社

代表取締役 杉 山 義 継

〒939-0351
富山県射水市戸破 624
TEL 0766-50-1007 FAX 0766-55-2212
<http://www.shokokai.or.jp/16/163811s0020/index.htm>

謹賀新年

日本ドアーチエック製造株式会社

取締役社長 出向井 康 司

〒544-0014
大阪府大阪市生野区巽東三丁目 17-10
TEL 06-6758-1251 FAX 06-6758-0728
<https://www.e-newstar.co.jp>

謹賀新年

株式会社バーテック

代表取締役社長 末松 仁彦

〒534-0027
大阪府大阪市都島区中野町1丁目4番地12号
TEL 06-6352-6841 FAX 06-6352-6853
<https://www.burrtec.co.jp/>

謹賀新年

BX新生精機株式会社

代表取締役 北村 泰一

〒675-2444
兵庫県加西市鴨谷町687番地
TEL 0790-44-1161 FAX 0790-44-2271
<http://www.shinseiseiki.co.jp>

謹賀新年

株式会社ユニオン

代表取締役社長 立野 純三

〒550-0015
大阪府大阪市西区南堀江2-13-22
TEL 06-6532-3188 FAX 06-6533-3747
<http://www.artunion.co.jp>

謹賀新年

株式会社ライズプラス

代表取締役 長尾 慎一

〒101-0032
東京都千代田区岩本町3-5-14 リベラ岩本町4階
TEL 03-5839-2194 FAX 03-5839-2494
<https://riseplus.co.jp/>

(社名五十音順)

寄稿

美味しい
お店紹介

スパイススペース ウガヤ

住 所：東京都台東区浅草5-23-7

東京で今注目のスポットのひとつ「奥浅草」に昨年末にスパイスにこだわり抜いたカレー屋さんがオープンしました。その店名はずばり「スパイススペースウガヤ」。

店主の宇賀村さんは浅草生まれの浅草育ちです。こちらのカレーはグルテンフリーで科学調味料不使用の健康志向のカレーになっています。全て美味しいのですが、特にお勧めは写真の「スパイス牛スジカレー」で国産黒毛和牛の牛スジと自家製フォンドでスパイス香るカレーは絶品です。

是非、浅草寺参詣の際は足を伸ばされてはいかがでしょうか。



▲スパイス牛スジカレー

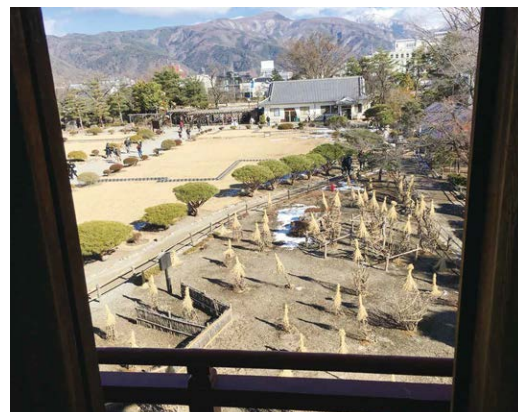
松本城（長野県）

松本城は長野県松本市にあり、永正元年（1504年）に築城され、現存する五重六階の天守の中で日本最古の城です。市民からは別名烏城（からすじょう）とも呼ばれ、天守が国宝指定されています。

当初は深志城と言う名でしたが、天正10年（1582年）に松本城と改められました。外壁の黒が際立っていますが、これは黒塗の下見板が張られている為で、黒漆塗りとなっています。中に入ると様々な収蔵品が展示されており、当時の情景が見て取れます。4階から5階に上がる階段は傾斜が61度ととても急な階段で階段を上がるのでは無く、登ると言う表現が正しいと思うほどの階段になっています。最上階に行くと辺りを見渡すことが出来る為、素晴らしい風景を見ることが出来ます。

松本城周辺は松本城公園となっており、四季を通じて各種イベントが開催されています。春には夜桜会を行っており、開花宣言の3日後から8日間開催され、松本城天守と本丸庭園の桜をがライトアップされます。月見櫓では、三曲（箏・尺八）、フルート、雅楽の演奏が行われ、本丸庭園内では、お茶席が設けられ、花見団子の屋台、常設売店の営業もあります。

（松本城管理事務所 HP 及び Wikipedia 参照）



▲松本城からの景色

JSDA 会報 2019年・新春号

発行日:2019年1月 通巻第56号

発行者:一般社団法人日本シャッター・ドア協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北3丁目2-5 九段北325ビル8階

tel.03-3288-1281 (代) /fax.03-3288-1282

URL:<http://www.jsda.or.jp>